



新学習指導要領に対応した「主体的・対話的で深い学び」を極める

12月7日（月）に新学習指導要領対応授業改善推進サポート研修（高・特）を開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により第1回が中止となったため、プログラムを仕立て直しての実施となりました。

学習評価を意識して授業をデザインする（高等学校）

講義・演習「コロナ禍における生徒の「主体的・対話的で深い学び」をどう保障するか」

講師 聖心女子大学現代教養学部教授 益川 弘如 氏

○資質・能力を育むICT活用

- ・機械から学ぶのではなく、生徒自らが「次に学びたいこと、知りたいこと、深めたいこと」を設定する機会がないと、主体的に学ぶ態度は育まれません。
- ・予想外の考え（同級生の考え方）に触れて深める場面を大切にしましょう。

○主体的・対話的で深い学びの授業づくりを支援するのが「授業設計診断」の4項目です。

○特に「対話と思考」、対話を通して建設的なやり取りが生まれる仕掛けが、深い学びをもたらします。



ミニパネルディスカッション（益川先生 × 沼津工業高校 吉荒雄太教諭・清水西高校 石井里枝教諭）

お二人の先生に御登壇いただき、実践した授業を振り返り、成果と課題をお話いただきました。益川先生からは、生徒の学びの深まりについての質問の後、生徒の記述から変容を見取することで次の授業改善につなげていくことについての助言がありました。



数学A 場合の数
地点Aから地点Bまで遠回りをして行く最短経路の総数を求めて、説明しよう。

コミュニケーション英語Ⅰ
「A Microcosm in the Sea」
グレートバリアリーフに行きたいと思う？なぜ？

学習評価についての講義を踏まえて教科別演習



教科混合で共有



【アンケートより】他教科の先生方と解決したい課題や問いを見比べて、教科別検討会で授業改善の意見交換をしたりすることで、自分の教科の特徴と、授業を作る上での課題が分かりました。



▲Google フォームに事前入力した授業設計診断の4項目をブラッシュアップ！

▼学びのデザインシートは、学習評価をより意識してリニューアルしました。

学びのデザインシート令和2年度版 （様式を見直しました）

子どもの学びを想定し、4項目で分析する／授業改善の一手を見つける（特別支援学校）

講義・演習「特別支援学校における『主体的・対話的で深い学び』の視点からの授業改善 ～授業設計診断の4項目を生かして～」

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、「学びの想定シート」を活用して、持参した指導案を見直しました。「学びの想定シート」は、引き出したい「子どもの学びの姿」を具体的に記入し、授業設計診断の4項目で考察するものです。障害種ごとのグループで深め、4項目で大切にしたいポイントを整理しました。



▲「学びの想定シート」を使って、学びの姿をブラッシュアップ！ ▶

学びの想定シート

●目標（具体的な子どもの姿で）

●解決したい課題や問い

『
』

達成・能力
発揮の姿

学習活動の
内容

学習活動の
方法

学習活動の
場面

学習活動の
時間

学習活動の
場所

学習活動の
道具

学習活動の
教材

学習活動の
評価

学習活動の
振り返り

学習活動の
まとめ

学習活動の
振り返り

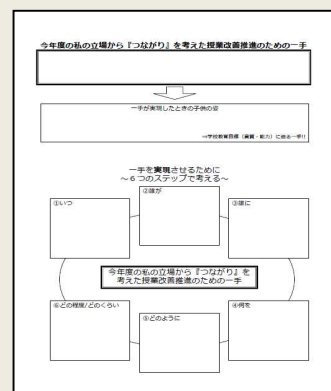
学習活動の
まとめ

講義・演習「特別支援学校におけるカリキュラム・マネジメント～それぞれの立場からつながりを考える～」

学校教育目標達成に向けて、日々の教育活動がつながっているか？学校で育てたい資質・能力が育まれているかどうか？を「つながり」という視点で見直し、授業改善推進のための方策を考えました。

まずは、カリキュラム・マネジメントの四つの側面より、それぞれの立場から見える各校の様々な「つながり」を整理しました。個別の指導計画を授業改善につなげていることや、人的・物的資源が豊富で積極的に活用している等の「良さ・強み」、教科等横断的な視点で授業を考える、学部間のつながり等が「課題」としてあがっていました。

良さや課題をふまえて、それぞれの立場でできる授業改善推進のための方策を考えました。学習指導要領の目標、内容、段階を意識した授業づくりをすること、教科等横断的な視点を入れた年間指導計画を作成すること等、方策が実現したときの子どもの具体的な姿を想定しながら考えることができました。明日からその方策が実現できるよう、いつ？誰が？どのように？と行動も具体化しました。授業改善の推進に向け、一人一人が意欲を高めることができました。



講義 「特別支援学校における主体的・対話的で深い学びとカリキュラム・マネジメント」

講師 浜松学院大学現代コミュニケーション学部 教授 岩見 良憲 氏

- ・学習指導要領改訂のポイントを押さえながら、主体的・対話的で深い学びとカリキュラム・マネジメントを自分なりのストーリーで初任者や周囲の方に説明できるようにしましょう。
- ・主体的・対話的で深い学びとカリキュラム・マネジメントをふまえた、校内研修の推進と授業改善を考える視点を持ちましょう。

<研修員の感想>

- ・本質をどれだけ自分の中に落とし込めるかが重要だと思いました。形式だけで表面をなぞる授業だけでなく、特に「何が変わったのか」に視点をあてて、授業改善や学校改革に自分のできることから取り組んでいきたいです。
- ・多くの経験を積んでいらっしゃる教授のお話は深くしみるものがありました。様々な受け止め方の姿があり、意見を交わしぶつかり合う中で、エネルギーが生まれること、資料は大事だが、大量の資料から自分に合うものを精査していく必要性がある等、自分や自分の学校で伝えたいと思う言葉がたくさん詰まった講義でした。



（今回は高等学校支援課・特別支援課が担当しました）